

# 感染症対策について(インフルエンザ・ノロウイルス等)

## 1 趣 旨

流行が懸念される「インフルエンザ」「ノロウイルス」の予防と集団感染の防止を目的とする基本的な指針とする。

## 2 報 告

(1) **様式1「健康観察記録」**～各校の監督及び引率者の責任において、参加選手の健康観察を行う。大会期間中は毎朝、健康観察を行い各競技会場医務係に必ず提出する。

※各校で体温計を持参する。

(2) **様式2「受診報告書」**～インフルエンザ・ノロウイルス感染の有無に限らず医療機関を受診した場合、監督及び引率者は必要事項を記入後、事務局へFAXにて報告する。

(3) **様式3「罹患届出書」**～インフルエンザ・ノロウイルス等の感染(感染の恐れを含む)が確認された場合、監督及び引率者は必要事項を記入後、事務局へFAXにて報告する。

福島県中学校体育大会スキー大会連絡先:事務局〔会津若松市立一箕中学校〕  
電話番号0242-22-2113 FAX番号0242-32-6403

## 3 インフルエンザ予防(感染防止)の対策

### (1) 感染の実際

【飛沫感染】咳やくしゃみなどに含まれるウィルスを鼻や口から吸い込んで感染する。

※咳やくしゃみのしぶき(飛沫)は約2m飛ぶ。

【接触感染】ウィルスが付着したもの(ドアなど)を触った手で、口や目などの粘膜に触れることで感染する。

### (2) 予防(感染防止)のために

#### ① 咳エチケットを心がける

- 咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用する。
- マスクがない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけて1～2m離れる。
- 使用したティッシュは、すぐにゴミ箱に捨て、手を丁寧に洗う。
- 周囲にマスクをせずに咳をしている人がいたらマスクの着用をお願いする。

#### ② マスク着用の徹底

- ・ 不織布マスク1日1枚以上の使い捨てが理想。マスク表面には触れない。

#### ③ 頻繁な手洗い

- ・ 石けんやハンドソープを使って15秒以上行い、ペーパータオルなどで水を十分拭き取る。
- ・ 状況によってはアルコール手指消毒剤の使用や、流水での手洗いを行う。

#### ④ うがいの励行

- ・ 外出後は手洗いと共に必ずうがいをする。

#### ⑤ 健康管理・健康観察

- ・ 監督及び引率者の責任において参加選手の体温測定をする等、健康観察を行い健康管理に努める。

### (3) インフルエンザの感染

#### ① 潜伏期間は2日前後

#### ② 症 状

- ・ 急な発熱(38～40度)
- ・ 咳や鼻水、咽頭痛、全身のだるさ、頭痛、筋肉痛、関節痛、下痢など

#### ③ 症状が出たときの行動

- ・ 別紙の医療機関一覧表を参照し直接、医療機関と連絡を取り受診する。

## 4 ノロウイルス予防（感染防止）の対策

### （1）感染の実際

- ① ノロウイルスに汚染されていたカキなどの二枚貝を十分に火に通さずに食すと感染する。
- ② 感染者の便や嘔吐物に含まれるノロウイルスが口に入り込み感染する。ノロウイルスは乾燥することで空中に漂い、これが口に入って感染することもある。また、調理器具などを介してノロウイルスが付着した食品を食べることで感染する。

### （2）予防（感染防止）のために

- ① 頻繁な手洗い
  - ・ 特にトイレの後や食事の前に石けんやハンドソープを使い十分泡立てて手を洗う。
  - ・ 手洗いタオルの使い回しを避け、個人所有のものを使用する。
  - ・ 感染者が出た場合など、蛇口が汚れている場合もあるので手洗い時に蛇口を洗うか、手洗いはペーパータオルを使うなど直接触れない工夫をする。
- ② 調理での対策
  - ・ 二枚貝は十分に加熱をする。
  - ・ 調理器具は、次亜塩素酸ナトリウムや加熱による処理をする。
  - ・ 調理者の体調管理、手袋の使用、手洗いの徹底をする。
- ③ 嘔吐物や排せつ物の処理
  - ・ 処理する際は、使い捨てのマスクやビニール手袋、エプロンを着用する。また、十分な換気を行う。
  - ・ 乾燥する前に、使い捨ての布やペーパータオルで汚物中のウイルスが飛び散らないように静かに拭き取る。拭き取ったものはビニールの袋に入れて捨てる。
  - ・ 拭き取った後は0.1%次亜塩素酸ナトリウム（薄めた漂白剤など）で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをする。
- ④ 掃除の徹底
  - ・ 十分な拭き掃除をする。状況によっては定期的な消毒をする。

### （3）ノロウイルスの感染

- ① 潜伏期間は1～2日間
- ② 症状
  - ・ 嘔吐と下痢が主な症状。人により発熱や腹痛を伴うこともある。
  - ・ 感染しても発症しない場合や軽いかぜのような症状ですむ人もいる。
- ③ 症状が出たときの行動
  - ・ 別紙の医療機関一覧表を参照し直接、医療機関と連絡を取り受診する。
  - ・ 感染拡大を防止するため、「症状がある人は最後に浴槽に入るかシャワーのみにする。」「消毒後、他のものと分けて最後に洗濯をする。」など入浴、洗濯、掃除に十分な対策をとる。

※ 感染症予防対策は、各選手団の責任において行うこと。